

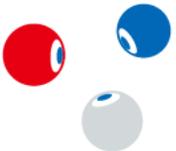
万博サーキュラーマーケット

ミヤク市!

# 2025年 大阪・関西万博における 大屋根リングのリユースについて

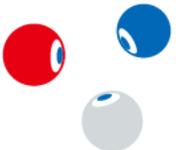
2025年 1月21日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会  
持続可能性局



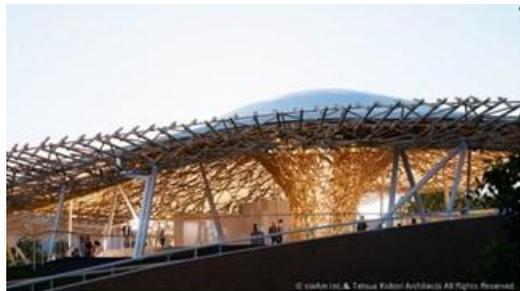
# 目次

- 1 大阪・関西万博における施設・設備等のリユースについて
- 2 施設・設備等のリユースの方針について
- 3 大屋根リングのリユースに関する準備について
- 4 大屋根リングのリユースに関する問い合わせについて
- 5 最後に



# 1 施設・設備等のリユースについて①（会場内施設）

- 参加国パビリオン
- 企業パビリオン
- 協会施設（大屋根リング、大催事場、小催事場、迎賓館、シグネチャーパビリオン、若手建築家施設）



# 1 施設・設備等のリユースについて② (EXPO2025グリーンビジョン)

## 持続可能性方針 (2022年4月)

- 「いのち輝く未来社会のデザイン」という大阪・関西万博のテーマに基づき、持続可能な大阪・関西万博の基本的な考え方や姿勢として、持続可能性に関する有識者委員会（座長：伊藤元重東京大学名誉教授）でのご審議に基づき策定。
- SDGsの5つのPに基づき目指すべき方向を記述。環境関係は、P (Planet) として以下を記述。国際的合意（「パリ協定」、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」、「昆明・モントリオール生物多様性枠組」）の実現に寄与する会場準備、運営を目指す。  
【目指すべき方向】
  1. 省CO<sub>2</sub>・省エネルギー技術の導入や再生可能エネルギー等の活用により、温室効果ガス排出量の抑制に徹底的に取り組む。
  2. リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle)、可能な部材等を積極的に活用する3R、またリニューアブル (Renewable) に取り組み、資源の有効利用を図る。
  3. 沿岸域における生態系ネットワークの重要な拠点として、会場内の自然環境・生態系の保全回復に取り組む。

## グリーンビジョンの構成

- 持続可能性に関する有識者委員会や脱炭素WG（委員長：下田吉之大阪大学教授）、資源循環WG（委員長：崎田裕子ジャーナリスト・環境カウンセラー）等で検討いただいた。
- 脱炭素編、資源循環・循環経済編、自然環境編、横断的事項の4編構成
- 2025年博覧会開幕前に改定予定

## グリーンビジョンの基本的な考え方

1. 先進性／経済性のある技術や仕組みの導入
2. 供給、需要両面にわたる技術や仕組みの導入
3. 来場者等の理解促進を図り、行動変容を起す仕組みの導入
4. 会場内だけでなく会場外も含めた広域エリアを対象とした実証・実装プロジェクトの実施
5. グリーン成長戦略/重点産業分野における需給両面の取組推進
6. スタートアップ企業、民間企業、民間団体等様々な主体の参加促進

# 1 施設・設備等のリユースについて③（「ミヤク市！」）

## ➤ ミヤク市！の紹介（※「ミヤク市」で検索してください）

万博閉会後に発生する建築物やアート、建材・設備、什器・備品等の資源の有効利用を図り、サステナブルな万博運営を実現するため、リユースマッチングサービス「万博サーキュラーマーケットミヤク市！」を立ち上げました。



みんなで作る  
施設・設備の資源循環。

「万博サーキュラーマーケット ミヤク市！」は施設・設備・什器の移築・リユースをみなさんと実現するプロジェクトです

（注）本サイトの英語ページは自動翻訳機能を使用しております。



## ➤ 商材のご紹介

### 【施設等の移築】

シグネチャーPV、若手建築家施設（トイレ・休憩所など） 等

### 【建材・設備のリユース】

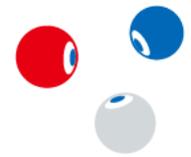
大屋根リング木材、内装材、電気・空調・衛生設備等、ファーニチャー 等

### 【什器・備品のリユース】

一般什器、サイズの小さい展示品 等

## ➤ スケジュール（現時点での想定）

2025年 3月～	「施設、大屋根リング木材、建材・設備等」のリユース公募開始予定
9月頃～	「什器・備品類」のリユース公募開始予定



## 2 施設・設備等のリユースの方針について

### (1) 協会財産処分（リユース）の基本的考え方（2023.12月理事会）

- 譲渡先は「公募」により決定する。
  - 公募に向けて制度設計中
- より多くの方に博覧会資産を還元すべきと考え、公共団体での利用を優先させる。
- 国、大阪府市の補助金の入った資産の譲渡先決定に関しては、国、大阪府市の承諾を得る。
  - 財産処分に関するルール整備中（財産処分要綱など）

### (2) 大屋根リングリユース提案募集（2024.2月）結果概要（2024.3月, 6月理事会）

#### 【リユース用途】

- ① 建物を構築するための骨組みになる構造材としての再活用
- ② 構造材以外の活用（庁舎の内外装、ベンチなど）
- ③ 会場内への存置（※存置主体、存置範囲などを含め、大阪府市において検討される）

### 3 大屋根リングのリユースに関する準備について①

#### 公募に関して

- 公募時期（※想定）  
2025年3月～
- 費用について  
リユース木材価格：有償、ただし、地方公共団体が地域再生計画に規定し国が承認する場合は無償  
リユースに係る追加的な解体費用：検討中  
リユース木材の輸送費用：譲渡先のご負担
- 引渡し時期（※想定）  
2026年春頃～2026年冬頃  
※令和7年度内（2026.1～3月）に供給できる木材量は限定されることから、特段に急ぐ理由のない譲渡先については、令和8年度（2026.4月以降）の引き取りをご検討いただきたい。
- リユース木材について（現時点での想定）
 

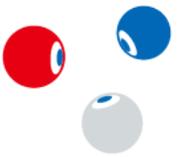
柱材：集成材（欧州赤松、国産檜）	サイズ：420mm×420mm×8,300mm～9,300mm（開口等有）
梁材：集成材（国産杉）	サイズ：420mm×210mm×5,400mmor9,020mm（継手・金物等有）
屋根材：CLT（国産檜）	サイズ：約2.2～2.4m×約8m×90mm（ネジ穴・接着剤跡等有）
- 公募に関する情報  
ミヤク市！の説明（p.12～13参照）



### 3 大屋根リングのリユースに関する準備について②

#### 大屋根（リング）の概要

円周 約 2 km、内径 約615m、高さ 12m（外側は20m）、延べ床面積 約66,000m<sup>2</sup>



# 【参考】大屋根リング木材のリユース事例



シグネチャーパビリオン(河森館)  
外構設置のベンチ



## 4 大屋根リングのリユースの問い合わせなど①

(1) お問い合わせフォームのご提出 (p.13)

- ✓ 「ミヤク市！」ホームページにアクセスし、問い合わせフォームをご提出ください。

(2) リユース検討申出書のご提出

- ✓ 次のステップとして、リユース用途、想定する需要量、引渡し希望時期などを調整していき、リユース解体工事検討の参考にいたします。
- ✓ 地方公共団体への無償譲渡に必要な地域再生計画等について、関係機関との調整などについてご協力いたします。

# ミヤク市！の説明（お問合わせ方法）

HOME 理念 新着情報一覧 お問い合わせ JP EN

EXPO 2025  
万博サーキュラーマーケット  
ミヤク市！

みんなで作る  
施設・設備の資源循環。

「万博サーキュラーマーケット ミヤク市！」は施設・設備・什器の移築・リユースをみなさんと実現するプロジェクトです。

（注）本サイトの英語ページは自動翻訳機能を使用しております。

施設等の移築 ↓ 建材/設備のリユース ↓

クリック↘

クリック↘

クリック↘

休憩所4 > ポップアップステージ（東外） > 大屋根リング >

博覧会協会 会場施設

博覧会協会 会場施設

博覧会協会 会場施設

大屋根リング

公開中

リングラウンドウォーク内観（昼景）

詳細情報

出品対象	集成材：柱、梁 CLT：屋根材
所有者	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
建築主	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
設計者	基本設計：東畑・梓設計共同企業体 実施設計： （北東工区）株式会社大林組 （南東工区）株式会社清水建設 （西工区）株式会社竹中工務店
施工者	（北東工区）大林組・大鉄工業・TSUCHIYA共同企業体・株式会社安井建築設計事務所 （南東工区）清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体 （西工区）竹中工務店・竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
建築面積	61,035.55㎡
延べ面積	66,900.02㎡ （容積対象延べ面積：66,733.54㎡）
構造	木造 一部鉄骨造
用途	歩廊
階数	2階
高さ	24.766m

お問い合わせ

協会に連絡が届く

需要家候補に移設計画・予算等をヒアリング  
NDA締結の上、図面等情報提供

適宜出品のうえ、公募を実施

## 5 最後に

- 大屋根リングをはじめとした協会施設の財産処分に関するルールについて、目下作成中です。
- リユースの公募に関しても制度設計中であり、公募開始時期も含めて、本日説明した内容は「想定」であり、正式に決定されたものではないことをご留意ください。
- 皆様方（需要家候補）とは、リユース検討申出書のご提出以降、具体的な検討内容について確認させていただき、必要な情報を提供させていただきたいと考えております。
- 施設、建材、設備などに加え、開幕後には什器・備品のリユース公募も開始します。
- 我々は、万博で使用した資産のリユース促進はもとより、それが、万博レガシーとして様々な場所で引き継がれていくことが、万博の成功につながると考えております。改めまして、万博の成功への皆様方のご協力をお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。